

北海道駒ヶ岳

1 概況

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003 年 9 月以降見られている昭和 4 年火口からの弱い噴気は引き続き観測されています。

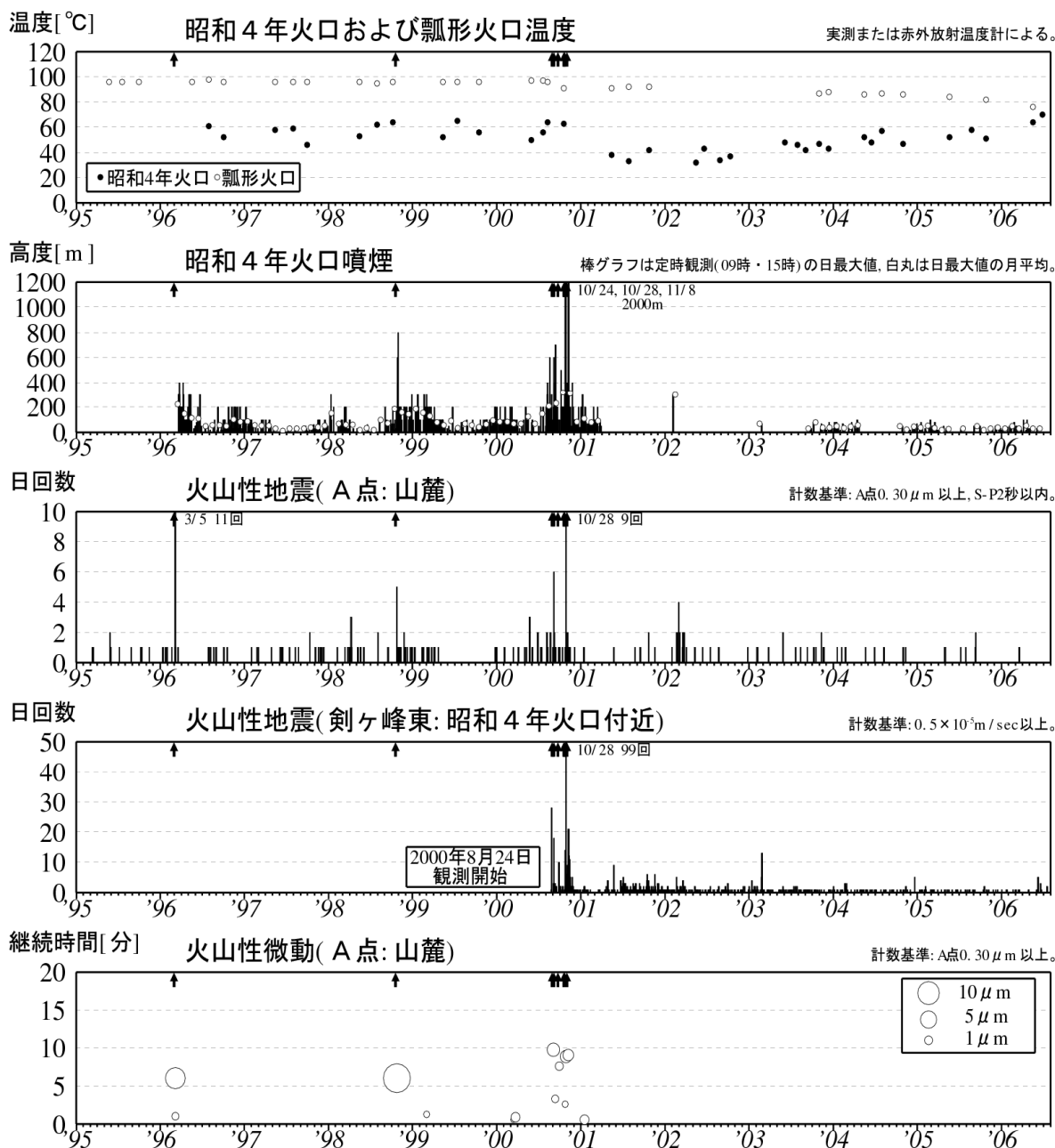


図 1 北海道駒ヶ岳 最近の火山活動経過図（1995 年 1 月～2006 年 7 月） ↑印は噴火

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

2 噴煙の状況

昭和 4 年火口では弱い噴気活動が続いており、火口縁上 10~50m 程度の白色噴気が 2003 年 9 月以降、しばしば観測されています。

3 地震の発生状況

今期間、A 点（震央分布図中 KOMA）で火山性地震は観測されませんでした。なお、山頂の剣ヶ峯東観測点（震央分布図中 KGMH）で観測される微小な地震も少ない状況でした。

火山性微動は観測されませんでした。

表 1 北海道駒ヶ岳 地震・微動の月回数（A 点：山麓の観測点 剣ヶ峯東：山頂付近の観測点）

2005~2006 年	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
A 点地震回数	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
剣ヶ峯東地震回数	3	1	4	3	2	3	2	3	2	0	12	2
A 点微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

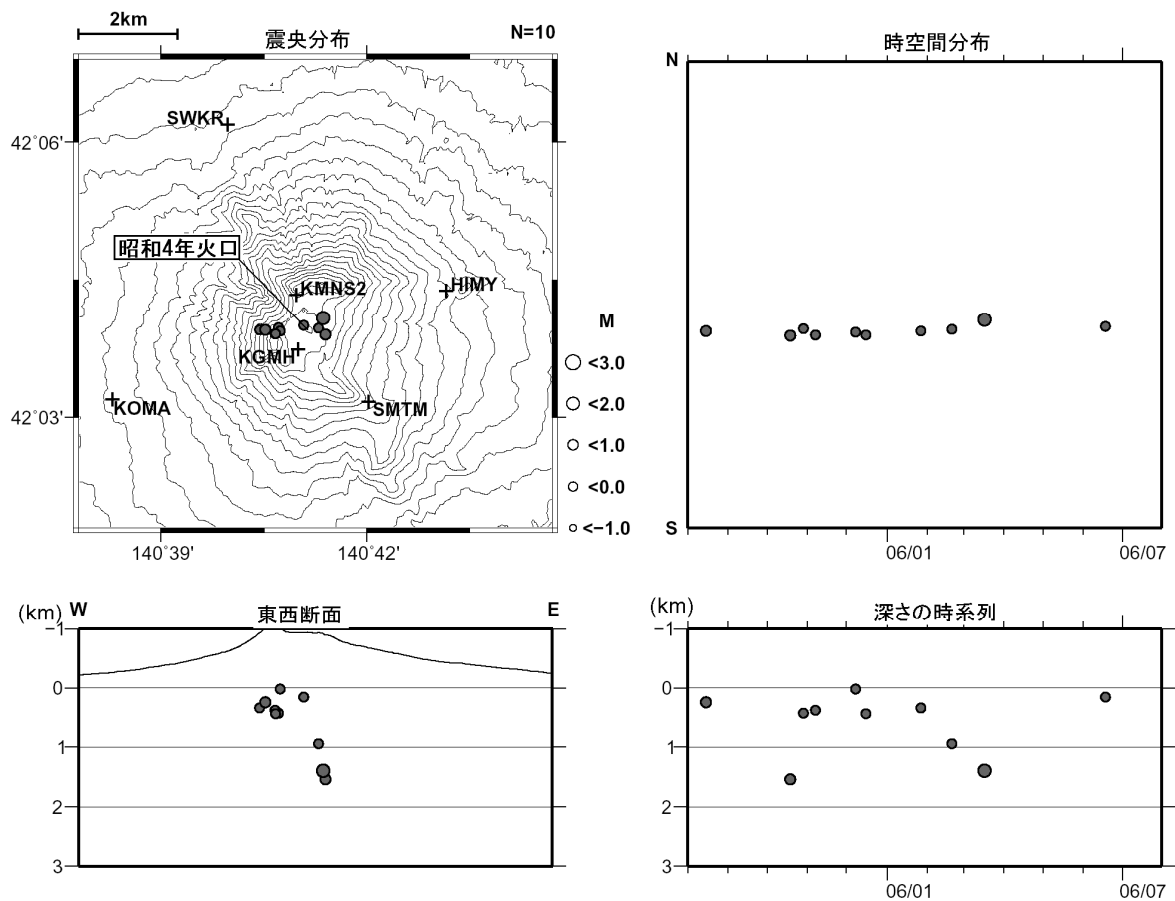


図 2 北海道駒ヶ岳の震源分布図（丸印：震源 +印：地震観測点）

●印は前期間までの 11 ヶ月間(2005 年 8 月~2006 年 6 月)に求まった震源を示しています。

前期間の震源は山頂火口原直下の浅い所（山頂から深さ約 1~3km 付近）に分布しています。今期間に求まった震源はありませんでした。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。

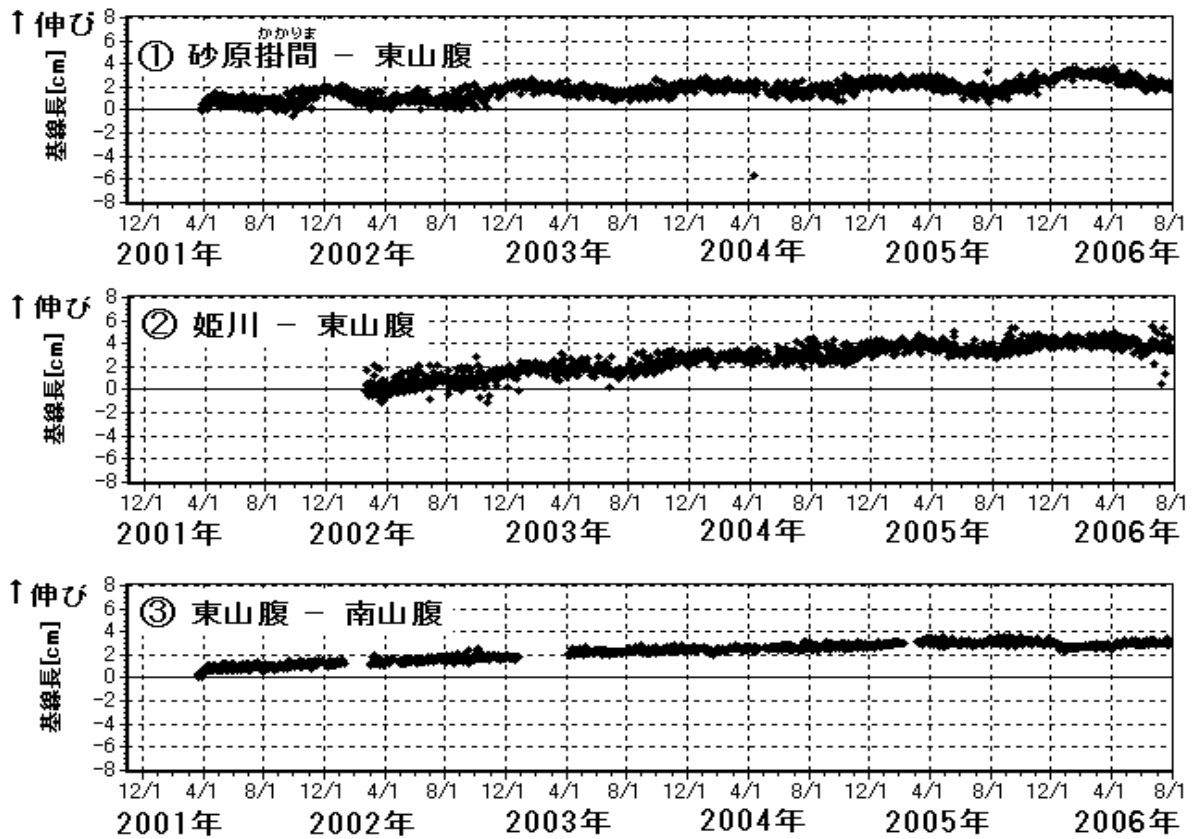


図3 北海道駒ヶ岳基線長変化 (2001年3月23日~2006年7月31日) グラフの空白部分は欠測

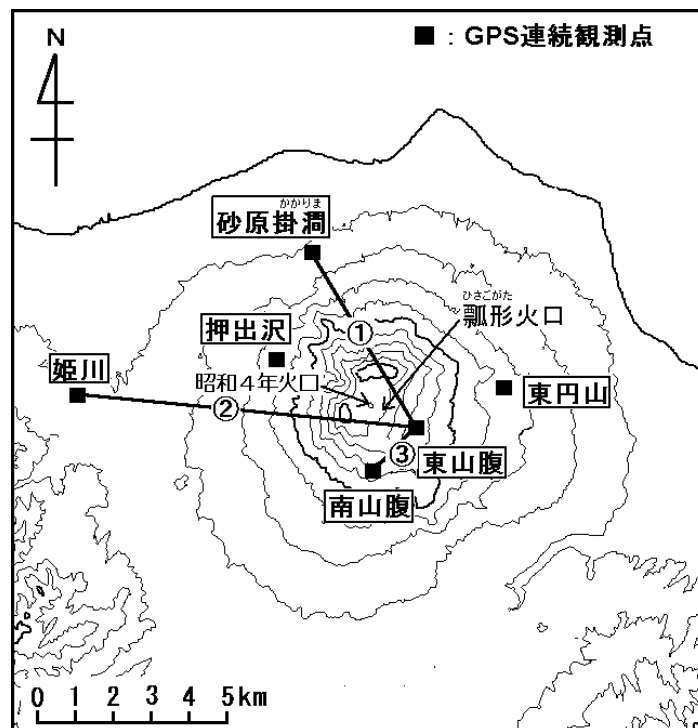


図4 北海道駒ヶ岳 GPS 観測点配置図